

 評価のポイント

CL-新人. 専門的、倫理的、法的な実践能力（精神科）

〔3-新人〕精神障害者を支える法律 1

① 障害者総合支援法に改正された経緯と特徴について、説明してください。

自立支援法は、障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から、障害者基本法の基本的理念にのっとり、福祉サービスや支援費制度について、活用しやすいように制度設計されたものであった。しかし、障害者自立支援法には基本理念がないことや障害特性を十分に反映できていないことなどの課題を踏まえ、障害者総合支援法に改正された経緯が説明できるとよいでしょう。

② 地域生活支援事業の事業内容について、あなたの地域で充実しているものと不足しているものを考察してみましょう。

地域生活支援事業は、基本的に地方が自主的に取り組む事業という性格があり、地理的条件や社会資源の状況などによって地域差がみられます。受講生の地域で行われている相談支援、研修会・普及啓発活動、基幹相談支援センターの有無に関して考えてみる機会になればよいでしょう。

③ 精神障害のある方を地域で支えるために、支援者として取り組めることを整理してみましょう。

看護師は、障害のある人が社会で生活する一人の人間として尊重され、社会で安心して生活するために必要な支援を求めている対象であることを理解する必要があります。個人の生活の場は、その個人の意思決定に基づくものでなければならぬことを学ぶことができれば、直接ケアの質、多職種連携と協働、社会の障壁を軽減させることなど、さまざまな支援のあり方を考察できると思います。